

電話が一本もない会社

電話が一本もなく、営業社員も一人もないという中小企業がある。その珍しい企業とは、ECスタジオ（東京都世田谷区）で、約35人の従業員が在籍している。

主要事業は、IT（情報技術）ビジネス。具体的にいえば、ITの高度活用コンサルティングである。

こうした企業は全国に多々あるが、コンサル会社自身がITの高度活用に成功しているケースが少ない中、同社は傾聴に値する企業である。

同社は2004年に現社長の山本敏行氏が弟と一緒に再スタートした。再スタートというのはほかでもない。00年に山本兄弟は留学先のアメリカで一度創業したが、あえなく挫折した。

株主や業績を最優先した経営

知恵の経営

をベースとしたため、社員や仕入れ先の反発を招いたことが理由だ。

失敗を教訓に

その失敗を教訓にメンバー（社員）最優先の経営に転換し、故郷の大阪で再びスタートした。再スタートから今日まで、業績は一貫して右肩上がりである。

この間に、社員満足度を高めるため行ってきたユニークな事業の中で、他の企業にも参考になると思われるものを5つ紹介する。

1つ目は「ゴーホーム制度」

法政大学大学院政策創造研究科教授
アタックスグループ顧問



坂本光司

という福利厚生制度である。この制度は、社員が出社しているオフィスから一定距離以上、実家が離れている場合、年2回まで1回1万4000円を社員に支給するというものである。配偶者がいる場合は2人分、また配偶者の実家に帰る場合も同様である。

2つ目は、「iPhone（iPhone）支給制度」である。会社から携帯電話を支給する会社は多い。しかしながら、その大半は営業マンなど外回りが多い社員向けである。同社では、内勤と外勤、そして正規と非正規を問わず、全社員に高機能携

帯電話のiPhoneを支給している。

さらに毎月の給料に携帯電話手当として6000円を加算している。これは、会議や商談、面接そして朝礼などを動画で配信することにより、全社員で情報や成功事例を共有するためである。

年間休日140日超

3つ目は「バースデー制度」である。社員やパートナー（配偶者や恋人）の誕生日に社員の食事代を支給する。ちなみに支給金額は1万4000円である。余談だが、恋人が変わっても何回

アタックスグループ 顧客企業1700社、スタッフ170人の会計事務所兼総合コンサルティング会社。「社長の最良の相談相手」をモットーに、東京、名古屋、大阪、静岡でサービスを展開している。

でも支給するという。

4つ目は、「食券制度」である。社員1人ではなく会社のメンバーと一緒に会社が契約した店で外食する場合、1カ月3500円を上限に食券を支給する制度だ。

5つ目は、「長期休暇制度」である。同社は完全週休2日制である上に、年4回の10日間連続休暇が義務付けられている。さらに単発で4日の休暇があり、年間休日数は実に140日を超える。

なお、同社はある調査会社の調査で2年連続社員満足度第1位に選ばれている。